

講義概要

昨年末からの新型コロナウイルス騒動が、現在、人類社会に大きな影響を与えている。一定の条件のもとでの人同士の接触が感染拡大を引き起こすことから、これを避けるため大学教育の場にもオンライン授業が大規模に導入されつつある。「コミュニケーションの心理学」にとっても興味深い状況と言える。一方、社会心理学の中ではこうした状況に深くかかわる研究がそれなりに蓄積されている。グローバリゼーション、情報社会、メディア利用、社会的リアリティ、電子コミュニケーション等に関わる諸研究である。

本講義では、今年度の特殊な状況に合わせ、与えられた条件の下で最大の教育効果をあげるべく、これらの題材に関する資料を中心としたオンライン授業を行う。

評価方法

1. 講義への出席・参加状況（全体の 30%）

2. 最終レポート（全体の 70%）

（注）オンラインでのやりとりを踏まえた課題を、講義の終盤で提示する。その課題について受講者が作成した最終レポートを成績評価に使う。詳細は課題発表時に示す。

講義予定

第1講 ガイダンス（オンライン授業の方法など）

Moodle を用いたオンライン授業の方法について説明する。

（注）講師（私）が Moodle 上で提示した資料について、Moodle 上で講師と受講者との間の「質疑応答」を行う。受講生同士の意見交換も Moodle 上で行う。

第2講 ガイダンスの続き

オンライン授業の方法についての確認と、取り上げる資料の説明を行う。

第3講 資料1

第4講 資料2

第5講 資料3

第6講 資料4

第7講 資料5前半

第8講 資料5後半

第9講 資料6前半

第10講 資料6後半

第11講 資料7前半

第12講 資料7後半

第13講 未定

第14講 未定

第15講 全体のまとめ